

総合計画策定の背景

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、環境問題の深刻化、経済のグローバル化、地球規模での情報化の進展など、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。また、住民ニーズの多様化・高度化や地方分権の更なる進展などにより地域間競争が激化する中、地方自治体は新たな時代の岐路に立たされています。

このような中、一人でも多くの人が笑顔で自分たちの住むまちに愛着や誇りを持ち、また、魅力にあふれ、市外の人からも「行ってみたい」「住みたい」と思われるまちを市民の皆さんと一緒に作りあげていくため、新しい総合計画を策定します。

将来都市像

**人が集い 笑顔広がる
幸せ実感都市 まつやま**

～「笑顔」には、多くの人を惹きつける力があります～

●活力とにぎわいがあふれる“人が集い、訪れるまち”

地域の中に笑顔があれば、その笑顔を中心に人が集まり、さらに笑顔が生まれます。そして、その地域が笑顔で満たされることで、市外からも多くの人を訪れることとなり、新たな活力とにぎわいが生まれます。

●交流の中から多くの人々がつながる“笑顔の輪が広がるまち”

多くの人が集まり、交流することで、「笑顔の輪」が広がります。この輪の中で、全ての人が支え合い、つながり合うことにより、それぞれのライフステージに応じた役割や多様な活動・活躍の場が創出されます。

●子どもからお年寄りまで、多くの笑顔に囲まれる

“幸せを実感できるまち”

多くの笑顔に囲まれながら、社会に貢献することによる充足感や、人とつながることによる安心感が得られ、全ての人が幸せを実感できるまちになります。

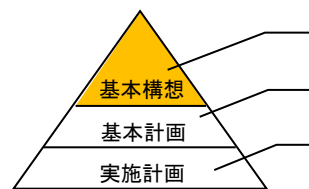
まちづくりの理念

- 様々な世代の人がつながり、支え合い、いきいきと暮らせるまちを目指す
- 夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す
- 魅力や活力にあふれ、持続的に発展するまちを目指す

総合計画とは？

平成34年度を目標とし、将来のまちのあるべき姿（将来都市像）を描くとともに、その実現に向けて、まちづくりの方向性を総合的かつ体系的にまとめた計画です。

松山市総合計画は、市政における最上位の計画として位置付けられており、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」で構成します。



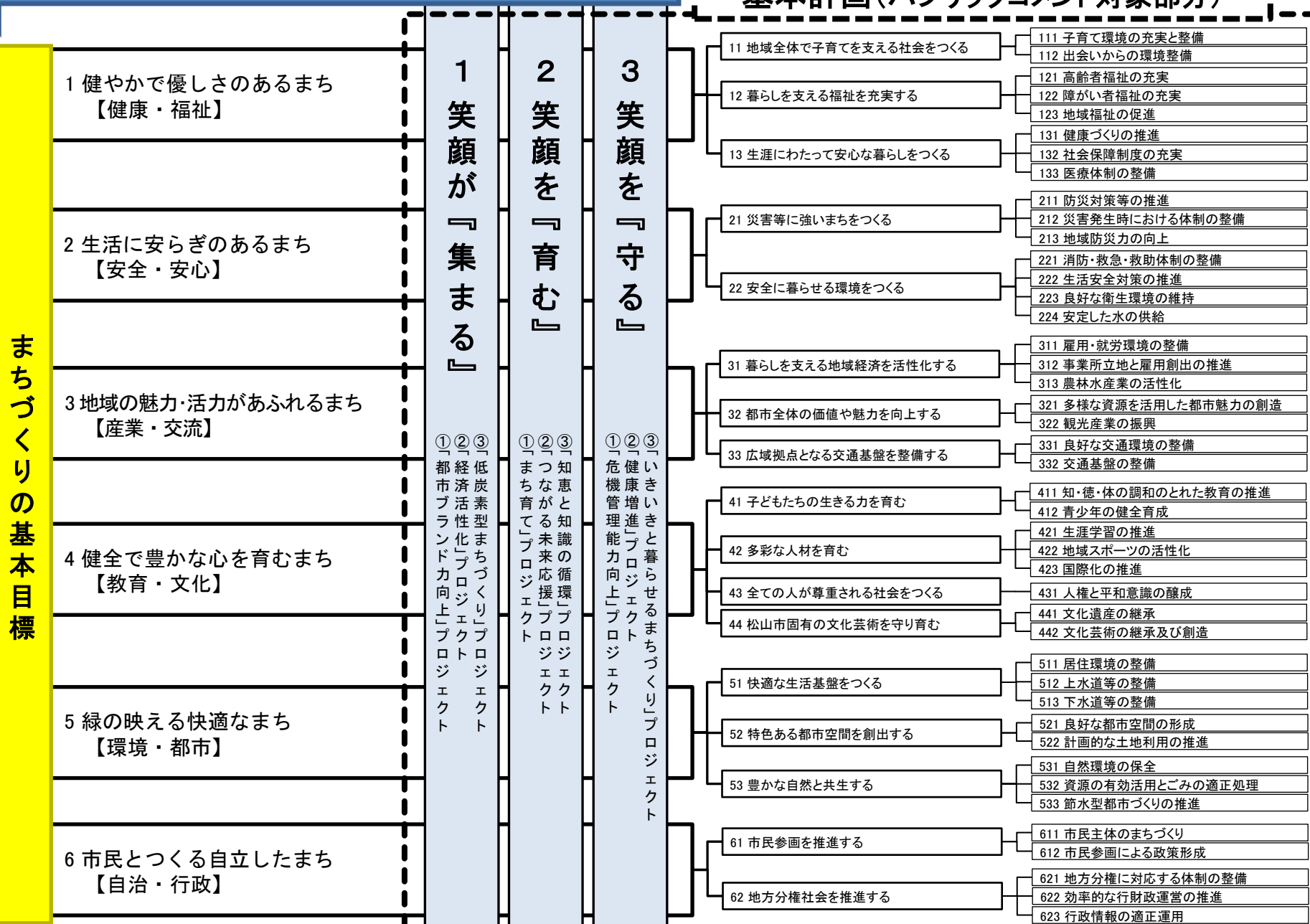
将来都市像とまちづくりの理念を明らかにするもので、期間を10年とします。

基本構想を実現するための施策の内容を体系的に示すもので、期間を5年とし、必要に応じて見直します。

基本計画で定めた施策を実行するための事業を示すもので、期間を3年とし、必要に応じて見直します。

「笑顔のまちづくり」プログラム

将来都市像の実現を先導するために、6つの「まちづくりの基本目標」を横断する取り組みとして、重点的かつ戦略的に進めます。



基本計画(パブリックコメント対象部分)